

# 平成22年度財団法人尼崎地域・産業活性化機構事業報告書

## (役員会)

### 1 理事会の開催

- (1) 第1回 5月28日(金) 就業規則及び尼崎市中小企業勤労者福祉共済規程の一部改正について  
最初の評議員の選任方法について  
平成21年度事業報告及び収支決算について
- (2) 第2回 8月5日(木) 役員を選任について  
最初の評議員選定委員会の設置及び運営に関する規則の制定について
- (3) 第3回 12月27日(月) 財団法人尼崎地域・産業活性化機構の公益財団法人への移行について  
評議員選定委員会委員の選任について  
最初の評議員候補者の推薦について
- (4) 第4回 3月29日(火) 就業規則及び給与規程の一部改正について  
平成22年度収支予算の補正について  
平成23年度事業計画案及び収支予算案について  
役員を選任について  
理事長、副理事長及び常務理事の選定について

## (共同宣言)

尼崎商工会議所、尼崎経営者協会、協同組合尼崎工業会、尼崎信用金庫及び尼崎市と共同で、「ECO未来都市・尼崎」宣言 ～環境の生きづくまちは美しい～ を行い、その実現に向けて連携して取り組むこととしました。

- ・宣言 11月29日(月)
- ・代表者会議 4回
- ・事務方会議 5回

## (事業)

### 1 調査研究事業

- (1) 産業情報データバンク事業(受託)  
尼崎市内におけるものづくり企業の取引を活発化させることを目的として、事業所情報データベース『尼崎インダストリー』のシステムの充実を図りました。
  - ① システムの更新  
キーワード検索機能の強化(or 検索[複数のキーワードのいずれかに該当するものすべてを抽出]の追加)
  - ② 掲載件数

- ア 事業所情報 1, 210件
  - ・ 新規登録 237件
  - ・ 掲載情報の更新 1, 061件
  - ・ 移転・廃業等による掲載停止 418件
- イ 開放特許情報 23件
  - ・ 掲載情報の更新 18件
- ウ 試験研究機関情報 79件
  - ・ 掲載情報の更新 58件
  - ・ 移転・廃業等による掲載停止 10件
- ③ アクセス件数 73, 282件

(2) 事業所景況調査（受託）

市内事業所の景況を把握するため、事業所景況調査（年4回）を行いました。

- ① 調査対象期間：1－3月期、4－6月期、7－9月期、10－12月期
- ② 調査対象業種：製造業、小売業、サービス業、建設業

(3) 特定経済動向調査（受託）

行政施策を構築する上での基礎資料とするため、「大規模商業施設立地による周辺地域への影響調査」をテーマとした調査を行いました。

① 通行量調査

ココエあまがさき緑遊新都心（以下、「ココエ」という。）が開館する前の平成21年2月に実施した通行量調査「尼崎市内商店街・小売市場戦略検討調査」の結果と比較できる形で実施しました。

ア 調査日時：7月4日(日) 10:00～20:00（天候：曇り時々晴れ）

7月5日(月) 10:00～20:00（天候：曇り一時晴れ）

イ 調査地点：アミング潮江及びココエ周辺の13地点（平成21年2月調査の10地点に3地点を加えた。）

ウ 調査項目：通行量、通行手段（歩行者・自転車）、性別、年齢

② 来街者調査

ア 調査日時：7月4日(日) 10:00～20:00

7月5日(月) 10:00～20:00

イ 調査場所：ココエ施設内及び出入り口付近

ウ 調査人員：11名

エ 調査項目：来館者の到達手段・到達時間・利用目的等、アミング潮江地区への来街状況

オ 調査方法：聞き取り調査

カ 回答者数：7月4日(日) 623人

7月5日(月) 559人

(4) 大規模商業施設立地による消費行動への影響調査[新規]

ココエの立地が周辺住民の消費行動に与えた影響を把握するための調査を行いました。

- ① 調査対象：尼崎市内2, 000世帯（市内全世帯の約1%無作為抽出）
- ② 調査期間：7月20日(火)～30日(金)
- ③ 調査項目：都心や商業集積地への外出状況（ココエオープン前後の比較）、アミング潮江地区への来街状況（ココエオープン前後の比較）、ココエの利用（頻度、目的、同行者、到達手段）、あまがさき緑遊新都心整備の感想
- ④ 調査方法：アンケート調査（郵送による配布回収）
- ⑤ 配布回収：有効配布数 1, 962世帯  
有効回収数 518世帯  
有効回収率 26.4%

(5) 地域データ及び関連情報の収集・分析事業

尼崎市の基礎的なデータを収集・整理しました。

(6) 「図説 尼崎のすがた」作成事業[新規]

尼崎の地域・経済の動向を解説した冊子を作成するため、経済統計を収集・整理しました。

(7) 尼崎製造業の経営実態調査[新規]

景気動向が先行き不透明なため、平成21年度特定経済動向調査「急激な景気低迷による尼崎製造業への影響調査」と比較する形で、尼崎製造業の経営実態について継続調査を行いました。

- ① 調査対象：尼崎市内に立地する従業者4人以上の製造業事業所
- ② 調査期間：7月20日(火)～30日(金)
- ③ 調査項目：最近の景気動向、取引関係への影響、資金繰りの状況、設備・在庫の状況、雇用の状況、今後の業況見通し
- ④ 調査方法：アンケート調査（郵送による配布回収）
- ⑤ 配布回収：有効配布数 1, 085事業所  
有効回収数 399事業所  
有効回収率 36.8%

## 2 情報の収集・提供事業

(1) シリーズ「地域と産業」講演会の開催事業

長引く不況を乗り越える方法や社会経済環境の変化への対応方法について掘り下げた議論を展開して、尼崎の経済を再生させるための方策を探りました。

- ① 開催日：11月5日(金)
- ② テーマ：「尼崎経済の再生－不況を乗り越えるには!？」
- ③ 場所：尼崎市中小企業センター1階ホール

ア 基調講演：「不況を乗り越える企業経営」

講師：神戸国際大学経済学部 教授 中村 智彦 氏

イ 報告：「急激な景気低迷後の尼崎製造業の経営実態調査」

報告者：財団法人尼崎地域・産業活性化機構 事業課 調査担当

ウ パネルディスカッション

テーマ：「尼崎経済の再生 - 不況を乗り越えるには!？」

コーディネーター：兵庫県立大学政策科学研究所 所長・教授 加藤 恵正 氏

パネリスト：尼崎信用金庫 理事長 橋本 博之 氏

株式会社ヤマシタワークス 代表取締役 山下 健治 氏

尼崎商工会議所 会頭 吉田 修 氏

コメンテーター：神戸国際大学経済学部 教授 中村 智彦 氏

④ 参加者：134人

⑤ 同時開催：「産業のまち尼崎写真展」及び「雷写真コンテスト写真展」

(2) 「産業のまち尼崎」写真コンテスト開催事業

「産業のまち尼崎」がさらに発展・活性化していく源泉となる姿を表現した写真を募集し、内外に発信していくことを目的として写真コンテストを開催しました。

① テーマ：「産業都市尼崎の活力・にぎわい」

② 募集期間：7月1日(木)～平成23年1月31日(月)

③ 応募：214点(54人)

④ 審査：大阪芸術大学写真学科 教授 有野 永霧 氏

⑤ 審査結果：入賞13点(最優秀賞1点、優秀賞1点、主催・協賛団体の賞11点)  
入選13点

⑥ 表彰：3月7日(月)

⑦ 写真展の開催：平成23年4月30日～6月5日に尼信博物館、平成23年10月20日、21日に尼崎産業フェアで展示予定など。

なお、平成21年度入賞・入選作品を、尼信博物館(平成22年5月1日～6月6日)、尼崎産業フェア(平成22年10月21日～22日)で展示。

また、新聞記者発表、ホームページへの掲載などによって広く公表しました。

(3) 尼崎市産業団体等連絡協議会

県、市及び市内産業団体が連携し、産業振興施策等を効果的、効率的に実施するため、連絡協議会を開催し、産業施策に関する協議や情報交換等を行いました。

開催回数：12回

(4) 産業立地支援事業

新たな企業の誘致、取引の開拓、新事業創出の機会づくりを行うため、先端産業を支える中小企業や学術研究機関の集積、優れた交通インフラ等の情報を発信する活動を展開しました。

① 展示会への出展

ア PV Japan 2010

- ・ 主催：太陽光発電協会
- ・ 会期：6月30日(水)～7月2日(金) 3日間
- ・ 会場：パシフィコ横浜（横浜市西区）
- ・ 来場者数：40,720人
- ・ ブース来訪者数：800人

イ FPD International 2010

- ・ 主催：日経BP社
- ・ 会期：11月10日(水)～12日(金) 3日間
- ・ 会場：幕張メッセ（千葉市美浜市）
- ・ 来場者数：43,599人
- ・ ブース来訪者数：515人

ウ nano tech 2011

- ・ 主催：ナノバイオEXPO実行委員会
- ・ 会期：平成23年2月16日(水)～18日(金) 3日間
- ・ 会場：東京ビッグサイト（東京都江東区）
- ・ 来場者数：46,502人
- ・ ブース来訪者数：600人

(5) 事業概要のPR冊子の発行・ホームページの運用

機構の概要や平成22年度の事業を解説したパンフレットを作成しました。また、ホームページで、事業者役に役立つ情報を提供しました。

① 事業紹介冊子

- ア 機構紹介：A3裏表印刷2つ折 フルカラー
- イ 事業紹介：A4裏表 2色刷り
- ウ 作成部数：1,500部

② ホームページ

- ア 更新：随時
- イ アクセス件数：11,365件

(6) 産業展示会への出展

機構が実施する事業や中小企業センターを広く紹介するため、産業展示会へ出展しました。

① 先端シーズプレゼンテーション&マッチングフェア

- ア 主催：(財)神戸市産業振興財団、(社)兵庫県信用金庫協会、神戸商工会議所
- イ 会期：10月14日(木)
- ウ 会場：神戸市産業振興センター
- エ 来場者数：400人

オ ブース来訪者数：25人

### 3 中小企業支援事業

#### (1) 経営相談

市内企業の活性化や経営の安定化等を促進するため、特許や取引に関する各種相談に対応しました。

##### ① 特許相談

ア 開催回数：24回（毎月第2・4火曜日）

イ 相談員：兵庫県知的所有権センター（社団法人発明協会兵庫県支部）

特許情報活用支援アドバイザー 丸尾 行秀 氏

ウ 相談件数：77件

##### ② その他の相談：60件

#### (2) 産学連携推進事業

##### ① 尼崎市産学公ネットワーク協議会

市内企業の新製品、新技術開発を促進するため、大学と連携した事業を推進しました。

##### ア 構成団体

産業技術短期大学、大阪大学、神戸大学、兵庫県立大学、尼崎市、尼崎商工会議所、  
尼崎経営者協会、協同組合尼崎工業会、財団法人近畿高エネルギー加工技術研究所、  
株式会社エーリック、財団法人尼崎地域・産業活性化機構

##### イ 協議会の開催

・開催日：8月2日

##### ウ 産業技術短期大学研究内容説明会

・開催日：10月14日

・参加者：18人

・テーマa：産学連携事業の成果を活かした都市型風力発電システム実用化に向けた研究

発表者：産業技術短期大学機械工学科 准教授 福田 芳行 氏

株式会社八木製作所 社長 西村 清 氏

・テーマb：パイクスル基板で作製した高温超伝導ジョイント接合の表面欠陥と電気特性

発表者：産業技術短期大学電気電子工学科 講師 牧 哲朗 氏

##### エ 神戸大学研究内容説明会（一日神戸大学）

・開催日：12月22日

・参加者：24人

・テーマa：環境調和型複合材料の作製

発表者：神戸大学大学院工学研究科 教授 西野 孝 氏

・テーマb：使いやすさの人間工学

発表者：神戸大学大学院海事科学研究科 教授 嶋田 博行 氏

##### オ 兵庫県立大学研究内容説明会（“よくわかる研究”シリーズセミナー）

・開催日：2月18日

・参加者：40人

・テーマa：鉄鋼の熱処理技術の基本的考え方

発表者：兵庫県立大学大学院工学研究科 教授 深浦 健三 氏

・テーマb：チタンおよびマグネシウム材料の冷間プレス成形技術

発表者：兵庫県立大学大学院工学研究科 准教授 原田 泰典 氏

カ 大阪大学工学部と尼崎企業との技術交流会（ソシオ大阪）

・開催日：3月2日

・参加者：28人

・テーマa：最近の大阪大学の産学連携推進活動について

発表者：大阪大学大学院工学研究科社会連携室 教授 東海 明宏 氏

・テーマb：鉄系超弾性合金の新展開

発表者：大阪大学大学院工学研究科

マテリアル生産科学専攻 准教授 安田 弘行 氏

・テーマc：テラヘルツ波を用いた塗膜モニタリング技術

発表者：大阪大学大学院基礎工学研究科 招聘教授 松尾 伸也 氏

キ 市内事業所への教員派遣

・派遣回数等：4回（2社）

## ② 産学公人材イノベーション推進協議会

地域の産業振興、地域振興に資するため、産業界・行政機関・研究者・学生等が連携する協議会に参加しました。

### ア 連携団体

兵庫県商工会連合会、兵庫県中小企業家同友会、神戸信用金庫、兵庫県信用保証協会、公益財団法人ひょうご産業活性化センター、豊岡市、加東市、兵庫県立大学大学院（経営研究科・会計研究科）・経営学部、尼崎市、財団法人尼崎地域・産業活性化機構

### イ 協議会の開催

・開催日：5月29日、12月21日

### ウ シンポジウムの開催

・開催日：12月21日

・講演会：テーマ「地域支援能力の向上を目指して」

講師：農林水産省大臣官房企画官 木村 俊昭 氏

・パネルディスカッション

テーマ「地域活性化を実現するためのキーワードは何か！」

## (3) 産業功労者等表彰事業

産業の振興及び勤労意欲の高揚を図るため、本市産業の発展に貢献し、その功績が顕著な事業者及び市内事業所で永年に亘り業務に精励する優秀な従業員を表彰しました。

- ① 産業功労者表彰
  - ・選考会：9月21日      ・表彰式：10月13日      ・受賞者：5人
- ② 永年勤続勤労者表彰
  - ・表彰式：10月26日      ・受賞者：55人
- ③ 優良勤労者表彰
  - ・表彰式：10月26日      ・受賞者：67人

(4) ものづくり達人顕彰事業

市内製造事業所の優秀な技術・技能を広く社会に告知し、その継承と向上を図るため、ものづくりの優れた技術者、技能者を「達人」として顕彰しました。

- ・選考会：9月28日      ・表彰式：10月26日      ・受賞者：2人

(5) 尼崎産業フェアの開催

企業が保有する技術・製品をより市内外に紹介し、活発な取引・技術交流等を促進するため、産業支援機関や尼崎市と共同し「あまがさき産業フェア2010」を開催しました。

- ① テーマ：尼崎から世界へ！“ものづくり”が生み出す時代の大波

尼崎の元気企業の志士が今ここに集結！

- ② 開催日：10月21日(木)・22日(金)（2日間）

- ③ 来場者：1,217人

- ④ 事業内容及び実績

ア 尼崎市内企業等の産業製品・技術の展示(68小間)	56社・団体
イ 尼崎市内工業系高等学校・専門学校生徒の作品展示	6校
ウ 製品等プレゼンテーションコーナー	9社174人
エ 自社及び製品PR動画の放映	17社
オ 尼崎ロボットテクニカルセンター見学会	5人
カ ものづくり支援センター見学会	5人
キ 情報ツールビジネス活用講座	10人
ク 技術相談	15件
ケ 能力開発相談	31件

- ⑤ 同時開催事業

ア ものづくりトリエンナーレ in あまがさき (尼崎ものづくりグッドデザイン賞受賞製品展示会)	295人
イ 貿易相談会	7件
ウ 特許情報講座	11人
エ 経営基盤向上等支援・取引適正化セミナー	48人
オ 現場改善力向上講座	20人
カ 知的財産セミナー	61人
キ 健康相談会	45人

⑥ プレ開催事業

ア 取引拡大商談会

開催日：10月15日(金) 参加者：186人

イ 中小企業の売るための営業力向上セミナー

開催日：9月9日(木) 参加者：26人

(6) 尼崎倶楽部の運営

① 総会・理事会・常任理事会の開催

・ 総会：1回 ・ 理事会：1回 ・ 常任理事会：11回

② 朝食会の開催

・ 開催数：11回

③ ビアパーティの開催

・ 開催日：7月30日 ・ 参加券販売数：554枚

④ 総会後交流会の開催

・ 開催日：5月24日 ・ 参加者：31人

⑤ 懇親利き酒会の開催

・ 開催日：2月25日 ・ 参加者：137人

⑥ 懇話室ミニセミナーの開催

・ 開催日：11月9日 ・ 参加者：7人

⑦ 会員状況

(平成23年3月31日現在)

区分	1種会員	2種会員	特別会員	合計
会員数(人)	32	108	80	220

(7) 尼崎産業製品展示コーナーの運営

展示企業数：23社

(8) 地域ものづくり力連携促進事業(受託)

市内のものづくり企業の発展のために、企業訪問し、『ものづくり企業のための支援制度等活用ガイド』を提供するとともに、経営課題の把握とその解決に向けた支援を行いました。

① 「ものづくり企業のための支援制度等活用」ガイド

<尼崎市、兵庫県、国、関係機関の施策一覧> (第二版) の作成 [冊子及びWeb版]

② ものづくり企業の訪問と実態把握、相談

訪問企業数 679件

ヒアリング件数 190件

相談件数(企業数) 35件(26社)

(9) 技術技能優良企業発掘発信事業

ものづくりの分野で優れた技術・技能を有し伝承する事業所の情報を発信するとともに、「尼崎技術・技能優良事業所」のプレートを贈呈し、顕彰しました。

・事業所数 24社

#### 4 人材育成事業

(1) 尼崎経営塾

兵庫県立大学、尼崎市、財団法人尼崎地域・産業活性化機構の連携事業として、尼崎産業を担う若手経営者や企業後継者を対象に、経営環境の変更に対応しうる次代の人材を育成する尼崎経営塾を開催しました。また、過去の経営塾卒業生との交流促進や経営革新に取り組む企業例の研究を目的とした企業見学会も実施しました。

① 開催：全12回

② 参加者：15人

③ テーマ：中小企業の経営革新とビジネスプランづくり

(見学先：株式会社松原製館所、森合精機株式会社)

④ フォーミュラ：兵庫県立大学経営学部 教授 佐竹 隆幸氏

(2) 現場改善力向上講座

現場改善力の向上とスキルを習得するため、5S・3定を内容とするセミナーを開催しました。

① 開催：全3回

② 参加者：22人

③ テーマ：儲かる5S・3定改善

④ 講師：中小企業診断士 山下 勝正氏

⑤ 現場アドバイス：4社 各2日間

(3) 中小企業の売るための営業力向上セミナー

戦略思考と戦略遂行の考え方、新市場開拓のための効果的なSEO対策、顧客の期待を超える提案型営業力等のスキルを習得するためのセミナーを開催しました。

① 開催：全6回

② 参加者：26人

③ テーマ：中小企業の売るための営業力向上セミナー

④ 講師：独立行政法人中小企業基盤整備機構 近畿支部

チーフマネージャー（販路開拓） 村松 一生氏

⑤ 個別相談：希望企業5社に各1回2時間

(4) 知的財産セミナー

企業経営者等を対象に、知的財産に対する認識の向上や知識の普及を内容としたセミナーを尼崎産業フェアの同時開催事業として開催しました。

① 第1回

ア 開催日：10月21日

イ 参加者：11人

ウ テーマ：「特許で会社を守る方法」

エ 講師：特許情報活用支援アドバイザー 丸尾 行秀 氏

② 第2回

ア 開催日：10月22日

イ 参加者：61人

ウ テーマ：「共同研究開発におけるライセンス問題」

エ 講師：三宅法律事務所 松井 保仁 氏

(5) パソコン教室

企業実務に対応した人材を育成するため、時代のニーズに応じた多彩な講座を開催しました。

① 講座数：480講座

② 受講者数：1,474人

## 5 商業活性化対策事業

(1) 尼崎市商業活性化対策協議会の運営

事業者、経済団体、学識経験者、行政関係者等からなる協議会を運営し、事例研究をもとに商業活性化策について検討を進めました。

開催日：7月29日

(2) 専門家派遣事業

活性化に向けて積極的に活動しようとする小売市場・商店街等からの要望に応じて、専門家を派遣し、指導・助言を行いました。

派遣回数等：10団体 76回

内 容：店舗力アップ 19回

一店逸品活動 10回

地域連携 16回

問題解決型 31回

(3) 商業団体等への情報提供事業

商業振興策や商店街等活性化事例等について、随時、情報提供を行いました。

提供団体：17団体

(4) その他

市内商業団体等からの相談、支援：26件(地域貢献、農商連携など)

## 6 尼崎市業務受託事業

### (1) 中小企業新技術・新製品創出支援事業

審査会：7月1日 受付：8件 適用：4件

### (2) 空店舗活用支援事業：3件

### (3) 魅力向上支援事業：9件

### (4) アーケード維持管理事業：21団体

### (5) 商業活動相談指導業務：59件

### (6) 中小企業資金融資関係事業：4,161件

#### ① 金融相談：2,455件

内 訳：窓口相談件数1,943件・電話相談件数512件

#### ② 受付状況：1,706件

内 訳：認定書受付件数1,681件・市制度受付件数25件

## 7 尼崎市中小企業センター管理運営事業

センターを安全・安心・快適に利用していただくため、設備の機能維持や改善に努めるとともに、今日的視点に立った施設の運営により質の高いサービスを充実させました。

また、ホームページ・会議室紹介サイトなど積極的にPRを行い、センター利用の促進に努めました。

### (1) 会館利用状況（括弧内は平成21年度）

#### ① 利用件数

ア 会館：4,535件（4,622件）

イ 駐車場：15,186台（16,424台）

#### ② 会館利用率

ア 全体：28.7%（29.8%）

イ ホール：51.8%（55.2%）

### (2) 電子看板広告

PR企業・団体数：3社

### (3) 中小企業センターの施設改善

利用促進、サービス、安全・安心・快適性の向上と施設の維持・充実を図り、センターの利用促進につなげるため、施設の改修・設備の更新等を行いました。

#### ① 建物設備

ア 受電設備改修工事

イ 誘導灯更新工事

ウ 1階及び地下照明工事

エ 案内表示板の改修

オ 4階防火戸連動用煙感知器等の修繕

カ ひび割れ補修工事

② 貸室関係

ア 401会議室・504研修室のクロス貼り替え及び腰壁シート補強工事

イ 会議用テーブル更新

ウ 30cm舞台の更新及び60cm舞台のキャスター交換

③ 駐車場関係

ア 駐車場精算システム設置

イ 地下1階駐車場出入口自動ドア設置

(4) テナント会の運営

① テナント会議：5月26日(水) 3月23日(水)

② テナント交流会：1月19日(水)

## 8 尼崎市中小企業勤労者福祉共済事業（ハートプル）

尼崎市内中小企業で働く従業員の福利向上を目指し、結婚祝金・出産祝金等の給付事業や人間ドック、事業所健診補助、映画・観劇観賞、スポーツ・旅行等の利用補助、家族レクリエーション大会などの福利事業の2事業を実施しました。

(1) 給付事業

結婚祝金、出産祝金、永年勤続慰労金、災害見舞金等の給付を行いました。

・ 給付件数：2,815件

(2) 福利事業

① 人間ドック

受診者数：135人

② 事業所検診

ア 実施時期：春期 平成22年5月6日～6月30日

秋期 平成22年10月4日～11月30日

イ 事業所数：125社

ウ 受診者数：1,348人

③ 家族レクリエーション大会

ア 実施時期：平成22年11月1日～平成23年2月27日

イ 場 所：ひらかたパーク

ウ 参加者：2,770人

④ 家庭用常備薬の斡旋

ア 実施時期：夏期 平成22年7月1日～7月21日

秋期 平成22年11月1日～11月15日

イ 事業所数：290社

ウ 申込者数：930人

⑤ 補助あっせん

ア 映画鑑賞券（塚口サンサン劇場・東宝等）	1, 574人
イ 遊園地入場券（セントラルパーク・木下大サーカス等）	1, 105人
ウ 観劇・鑑賞（演劇・美術館等）	530人
エ スポーツ施設（会員制クラブ・甲子園等）	4, 687人
オ その他（あま湯・湯の華廊等）	329人
カ 指定宿舎利用補助	282人
キ 旅行補助	217人
ク 還暦旅行補助	33人

(3) クラブサークル活動

被共済者で構成する8つのサークルに対し、運営活動の支援補助を実施しました。

8サークル：歩こう会・ゴルフ部・将棋部・魚釣り部・硬式テニス部・ボウリング部  
書道部・卓球倶楽部

(4) 機関紙の発行

共済ニュース「ハートプル」の発行 毎月1回

- ① 発行回数：12回
- ② 対象：加入事業所及び被共済者
- ③ 主な掲載内容：最新の事業内容や各種イベント・旅行など催しの案内
- ④ 各月発行枚数：12, 000部

(5) 利用ガイドの発行

- ① 平成22年版「利用ガイド」の発行 年1回
- ② 対象：加入事業所及び被共済者
- ③ 主な掲載内容：最新の共済事業の提携先・サービス内容・利用方法などの案内
- ④ 発行枚数：13, 000部

(6) 加入状況（平成23年3月末現在）

- ① 加入事業所：1, 101社
- ② 会員数：11, 458人

以上